

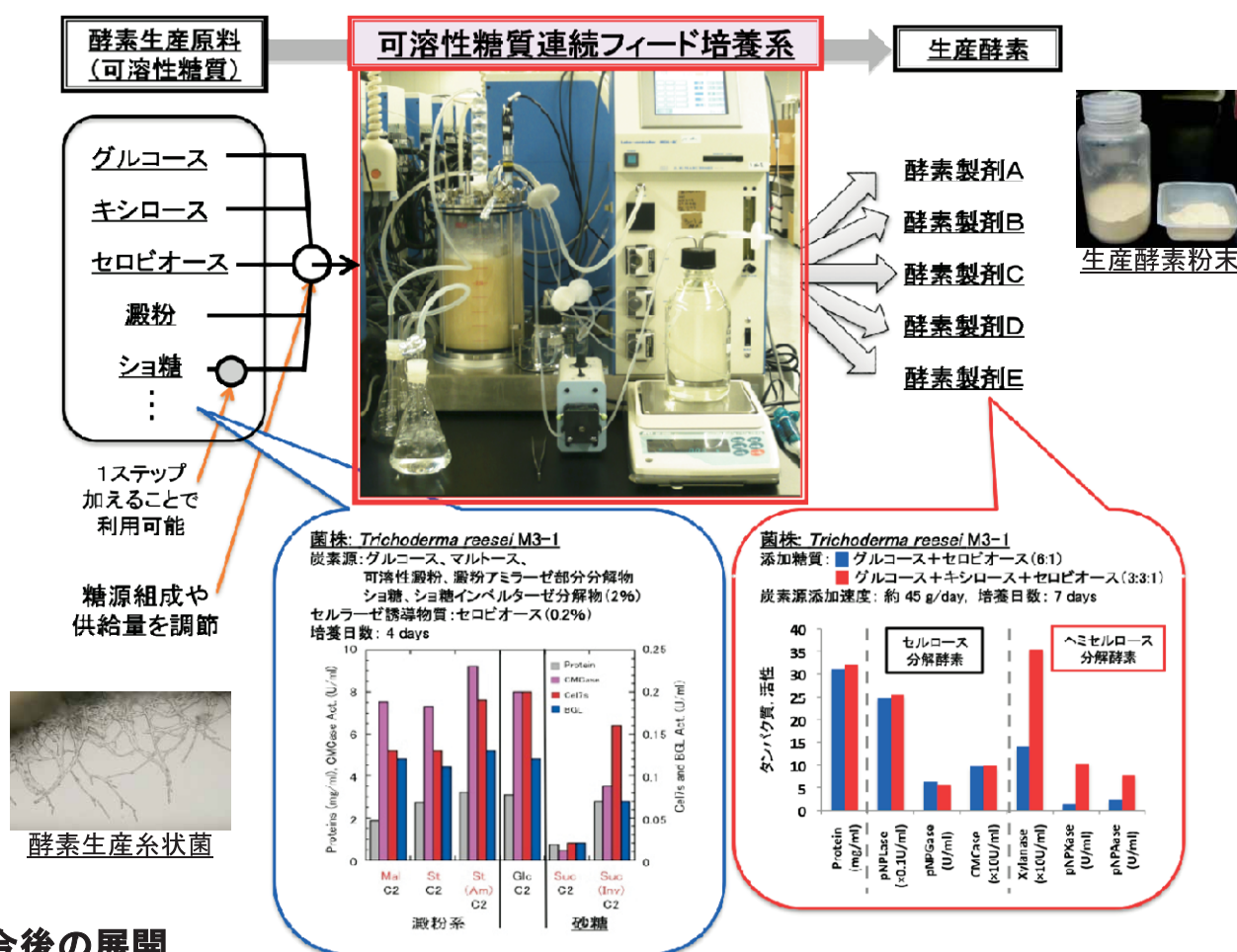
バイオマス糖化酵素高効率生産システム —様々な可溶性糖質原料を用いた効率的酵素生産—

技術の特徴

- ・可溶性糖質原料を連続的に供給することによる、**安定的かつ効率的な酵素生産**が可能なりグノセルロース系バイオマス糖化酵素生産システムを開発。
- ・糖質の種類や供給法を調節することで、**生産酵素群組成の調節**が可能
- ・様々な糖質を酵素生産原料として用いることが可能

研究の内容

- ・リグノセルロース系バイオマス変換技術開発において、酵素コスト低減が課題。
- ・多様な変換プロセスに対応可能な糖化酵素の効率的生産システムを構築。
- ・デンプンや砂糖などの比較的安価な糖質原料からの糖化酵素生産について検討。



今後の展開

- ・培養の連続化および生産性向上に資する因子の特定
- ・酵素生産系状菌の改良

参 考

本研究は、農林水産省委託研究プロジェクト「地域活性化のためのバイオマス利用技術の開発」および「農山漁村におけるバイオ燃料等生産基地創造のための技術開発」により実施。



農研機構
食品総合研究所

代表研究者: 池 正和、徳安 健
所 属: 食品素材科学研究領域
糖質素材ユニット

問合わせ先: 029-838-7189 mikegogo@affrc.go.jp